国学栃木2回戦敗退

柔道 男子団体

弓道 女子団体

作新 決勝初戦で涙

払い巻き込みで一本勝ちした国学栃木の副将・高嶋＝鹿児島アリーナ、橋本裕太撮影

高校総体

全国高校総体（インターハイ）第14日は9日、鹿児島市の鹿児島アリーナほかで柔道、弓道、アーチェリーなどを行い、柔道男子団体で7年ぶりに出場した国学栃木は2回戦で田村（福島）に1―4で敗れた。

弓道女子団体の作新は決勝トーナメント1回戦で大田（島根）に13―14で惜敗。アーチェリー女子個人で決勝トーナメントに進んだ増渕有花（烏山）は1回戦で敗退した。空手道は女子個人組手で露久保麗那（作新）が初戦突破したが、2回戦で熊本代表に敗れた。

《柔　道》（鹿児島アリーナ）

▽男子団体1回戦
国学栃木 3―1 大垣日大（岐阜）
樫渕 引き分け 片山
中島 合わせ技 水田○
○松田 合わせ技 松永
○高嶋 優勢 宮部
○奈良 背負い投げ 足立

▽同2回戦
田村（福島） 4―1 国学栃木
○伊藤 反則勝ち 樫渕
○田辺 合わせ技 中島
○橋本 反則勝ち 松田
片山 払い巻き込み 高嶋○
○鈴木 合わせ技 内股 奈良

《弓　道》（都城市体育文化センター特設弓道場）

▽女子団体決勝トーナメント1回戦
大田（島根） 14―13 作新
（大田＝丸亀2中、木下4中、板垣1中、高木4中、月森3中）
（作新＝山下4中、野中4中、松永1中、中村1中、熊倉3中）

大舞台で安定感欠く

○…弓道女子団体の作新はわずか1本届かず決勝トーナメント1回戦で敗退。野中歩美は「やっぱり全国の舞台に立つと緊張し、いつも通りできなくなる」と悔しがった。

対戦した大田（島根）は予選で20射14中の高的中率。作新勢も事前練習で調子を上げていたが、本番で4射皆中したのは野中、山下麗奈のみ。「自分の課題は克服できたが、チームとしては安定感が足りなかった」と敗因を語った。

3月の東日本大会で予選敗退し、ミーティングを重ねて信頼関係を深めてきた。野中は「安心できるチームだし楽しく弓を引けた」と振り返った。

《アーチェリー》（熊本県営八代運動公園陸上競技場）

▽女子個人決勝トーナメント1回戦
稲垣奈那（大阪・近大付） 6―0 増渕有花（烏山）

烏山・増渕有花（女子個人決勝トーナメント1回戦で敗退し）「昨夏に負けた学校とまた当たったのでリベンジしたかったが、気持ちで弱気になってしまった。国体に出場できるよう関東予選までにメンタル、技術を磨きたい」

《空　手》（名護市21世紀の森体育館）

▽男子組手団体1回戦
松山工（愛媛） 4―0 作新
○松田 4―0 佐藤
向井 0―0 高久
○亀井 9―0 大島
○藤川 6―0 立石
○稲葉 7―0 板橋

▽同組手個人1回戦
益尾飆（長崎・長崎日大） 6―0 長嶋心大（作新）

▽同2回戦
松岡（福島・福島法人） 0―0 駿河学園（鹿児島南工）
（風間明彦 判定勝ち）
○松田 2―0 中島
○田上飆 4―0 矢古宇
○細井 4―0 荒川
○村田 4―0 大学
○大坪 2―0 山本
▽同組手個人1回戦
嘉数萌乃（沖縄・沖縄尚学） 8―0 豊田花菜（作新）
露久保麗那（作新） 8―0 山下莉佳（鳥取・鳥取城北）
▽同2回戦
如水（広島・水島館） 5―0 宇商
▽女子組手団体1回戦
谷口七聖（熊本・熊本マリスト学園） 6―2 露久保麗那（作新）
▽男子形個人1回戦
「第3プール」⑫藤沢武蔵（真岡） 16・94点＝落選
「第6プール」⑩瀬戸山純也（足利大付） 17・74点＝落選
▽女子形個人1回戦
「第3プール」⑦久保田詩穂（作新） 18・60点＝落選
「第6プール」⑪久保田凪（黒磯南） 19・46点＝落選

戦術裏目 流れ乗れず

国学栃木

短すぎる夏だった。柔道男子団体の国学栃木は2回戦敗退。葭葉国士監督は「流れが悪かった」と肩を落とした。

オーダー変更が裏目に出た。県予選は体重100キロ超の3人を序盤にそろえ、流れを引き寄せて勝ち上がった。だが、19年連続出場の東北王者・田村（福島）を攻略すべく、この日は81キロの選手を先鋒に据えて後半勝負に出た。

しかし、中堅の松田新太主将が終わるまでに0―3で敗退が確定。先手を打たれて受け身になり、挑戦者としての勢いが消された。

焦点

重苦しいムードの中、160キロの副将高嶋智大が一矢報いた。「先生がいなかったら今ここにはいない。自分だけでも一本取る」と得意の払い巻き込みで一本勝ち。大将の奈良信幸も果敢に攻めたが、「力が強く、組み手も徹底されていた。逃げ腰になったことが悪かった」。開始59秒で一本負けした。

ここまでの道のりは平たんではなかった。それでも、互いに声を掛けながら練習に打ち込み、7年ぶりにインターハイ出場。目標に向かって全員で濃密な時間を過ごしてきた結果だった。

「1分1秒、1日でも多くやりたかった。選手はよくやってくれた」。葭葉監督のまなざしは温かかった。（野中美穂）

男子 級

制す

差 大石（茨・龍ケ崎愛宕）▽2回戦 蓬田湧馬（足利） GS僅差 菊地（千・御滝）、塩生（群・みずき） GS優勢 益子（山・富士学苑）▽準々決勝 永井（東・足学園） GS優勢 蓬田、服部（神・東海大相模） GS僅差 奥村▽73キロ級1回戦 高山恭吾（石橋） 合わせ技 萩原（群・伊勢崎四）、森田（茨・石下） GS僅差 吉田智也（協和）▽2回戦 杉野（埼・埼玉栄） 横四方固め 高山、久能（神・大野北） GS僅差 内藤智（足利）▽81キロ級1回戦 栗田（千・東海大浦安） 優勢 福田真大朗（宇大付）、片山涼（国学栃木） 反則勝ち 山田（群・多々良）▽2回戦 片山、反則勝ち 鄭（山・下吉田）、落合啓太（国学栃木） 優勢 鈴木（東・国士舘）▽準々決勝 小泉（神・六角橋） 大外刈り 片山、桑田（埼・埼玉栄） 優勢 落合▽90キロ級1回戦 飯田（茨・土浦四） 体落とし 植木優斗（氏家）、大峯（千・東海大浦安） 払い腰 山崎響（陽南）▽2回戦 斎五沢凌生（足利） 内股 大石（神・横浜西）▽準々決勝 斎五沢 内股 関口（群・みずき）▽準決勝 斎五沢 内股 カフレ（茨・土浦四）▽決勝 斎五沢 内股 新井（埼・埼玉栄）▽90キロ超級1回戦 峰（埼・埼玉栄） GS袖釣り込み腰 五島拓海（小山三）、唐木（東・国士舘） 払い腰 平井健一朗（陽東）▽2回戦 萩原魁聖（足利） 合わせ技 田辺（千・鳥川）▽準

▽44キロ級1回戦 半田京花（協和） 送り襟絞め 平林（神・有馬）、土屋（山・敷島） GS僅差 軽部心海（氏家）▽準々決勝 宮本（東・修徳） 背負い投げ 半田▽48キロ級1回戦 丹羽（東・修徳） 合わせ技 仲井日芽菜（野木）、最上蒔芽（清原） 背負い投げ 長谷（埼・田島）▽準々決勝 最上 横四方固め 奈良（山・竜王）▽準決勝 最上 合わせ技 大竹（東・淑徳）▽決勝 池田（埼・田島） 合わせ技 最上▽52キロ級1回戦 青木（神・金目） 反則勝ち 国分ひなた（足利一）、増渕さくら（清原） 合わせ技 早野（群・長野郷）▽準々決勝 増渕 合わせ技 森近（東・淑徳）▽準決勝 宝本（千・東海大浦安） 払い腰 増渕▽57キロ級1回戦 坂本（埼・芝西） 僅差 新保寿莉（陽南）、杉山（神・茅ケ崎一） 反則勝ち 後藤唯（足利一）

前半4分、石橋のセンター鈴木がシュートを決める＝野木中体育館

「ヤマ場だと思った」という準決勝も、得意の内股で全くなかった。

年前に準優勝した兄（流皮大）を超えたが「兄は全国で3位になった。それを上回れるように優勝を狙う」と全国大会に気を引き締めていた。

とし悔しさ

ール男子の石橋はサに当たる「7㍍スロで惜しくも敗退。GK「結果は結果。全力は悔しさをかみ殺した。まれたが、前半14分を決めて形勢逆転。奪い続けたものの、残り10秒を切って同点に追い付かれた。5人で争う7㍍スローコンテストは、1人目の左サイド田野井飛羽がシュートを決めたが、後続が続かなかった。

現チームは7月の県総体で初めて県タイトルを手にした。エースの左45度厚木朝顕は「気合が入りすぎていた。冷静になればもっと点数も取れたはず」と悔やんだ。

遠藤（鹿沼） PO制し頂点

総合の部

ゴルフ 県ミッドシニア

第4回県ミッドシニアゴルフ選手権大会（県ゴルフ連盟、県ゴルフ連盟シニア会主催、下野新聞社など後援）は9日、宇都宮市のレイクランドCC（6284ヤード、パー72）に130人が出場して行われ、65歳以上で争われるメインの総合の部は遠藤斌（鹿沼）が3人によるプレーオフを制して初優勝を飾った。

パープレーの72で遠藤、連覇を狙う鈴木英利（宇都宮）、昨年2位の大和田天（同）がいずれもエージシュートを決めて並んだ。

18番パー4（341ヤード）で行われたプレーオフ1ホール目。遠藤はグリーン右奥のカラーに2打目をのせてパー。鈴木はティーショットをミス、大和田はクロスバンカーでトラブルに見舞われ、ダブルボギーとトリプルボギーで決着した。

70～74歳の部は磯俊男（足利）が、75歳以上の部は見山寛平（宇都宮）がそれぞれ制した。

74歳、暑さの中で奮闘

○…初優勝した遠藤斌（鹿沼）は「とにかく暑かった。パープレーは出来過ぎでプレーオフはうまくいった。正直うれしい」と満面の笑みを浮かべた。

2015年の第50回県知事盃グランドシニアの部を制した時もレイクランドCCが舞台で「相性がいい」という。イン10番スタートで2ボギー38でターン。アウトに入ると4、5、8番でバーディーを奪う34の快進撃だった。

1945年4月生まれの74歳。暑さの中のパープレーは「日頃の努力」という。日本ミッドシニアなどにも挑戦し続け最高は4位。3年前からは日本グランドシニアに挑戦している。「今年は愛知県。いい弾みになる」と結んだ。

宇都宮・鈴木英利（連覇を狙って独走態勢だったが、終盤2ホールのダブルボギー、ボギーで失速）「17番では急に風が吹き荒れ、18番は3パット。プレーオフで負けて悔しいけど、力の差」

初優勝した遠藤のプレーオフでのティーショット＝レイクランドCC18番

【第4回県ミッドシニアゴルフ選手権】

（6284ヤード、パー72）

【総合の部】（グロ、アウ、イン）
○①遠藤　斌（鹿沼）72（34、38）
②大和田　天（宇都宮）72（37、35）
③鈴木　英利（〃）72（34、38）
＋1④戸祭　康生（芳賀）73（34、39）
＋2⑤阿久津英男（日光）74（39、35）
⑥永井　孝之（高根沢）74（38、36）
⑦大垣　春男（宇都宮）74（38、36）
⑧福田　文夫（益子）74（38、36）
⑨武田　幸雄（大田原）74（36、38）
⑩坂井　貞夫（宇都宮）74（36、38）

【70～74歳の部】（グロ、アウ、イン）
＋3①磯　俊男（足利）75（39、36）
②手塚　良美（さくら）75（38、37）
③増渕　守哉（宇都宮）75（37、38）
＋4④斉藤　裕一（壬生）76（37、39）
＋5⑤大森　政男（那須）77（40、37）

【75歳以上の部】（グロ、アウ、イン）
＋6①見山　寛平（宇都宮）78（40、38）
②五十嵐秀夫（栃木）78（39、39）
③高橋　伸一（宇都宮）78（39、39）
＋7④中村　源治（〃）79（41、38）
＋9⑤矢野　塚春（〃）81（42、39）

とちプロ NEXT TOCHIGI SOCCER CLUB

降格圏脱出へ 欲しい白星

きょうアウェー京都戦

J2第27節の栃木SCは10日午後7時から、京都市のたけびしスタジアム京都で2位の京都と対戦する。4枚券の星から

J3降格圏から抜け出したい。

栃木SCは4勝10分け12敗、勝ち点22の21位。前節の金沢戦は前半の早い時間帯に失点したが、後半から投入されたFW金玄の今季初ゴールで追い付いた。攻撃陣は金とFW大黒将志の2トップにシステム変更した後にチャンスを多くつくっただけに、今回は複数得点で勝機を見いだしたい。

今季から中田一三監督が指揮する京都は、14勝中8勝が1点差と接戦に強さを発揮している。前回の対戦で2ゴールを献上し、今季11得点と好調をキープするFW一美和成のゴール前の動きには